

# メディカル事業

優れた技術で高品質な製品を提供し、  
ひとびとの健康と豊かな生活の実現に貢献

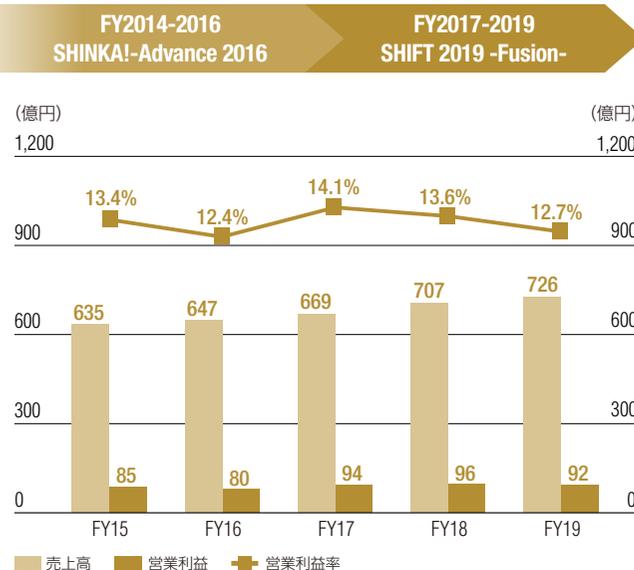
## 概要

メディカル事業では「ひとびとの健康と豊かな生活の実現に貢献する」というミッションのもと、医療現場におけるさまざまな製品やサービスを提供しています。当社のメディカル事業部門と第一化学薬品株式会社の統合により、2008年に発足した積水メディカル株式会社を中心となり、グループのメディカル事業を担っています。当事業は検査薬・機器の販売を行う「検査事業」と医薬品原薬の受託製造を行う医薬事業、製薬企業の研究開発支援を行う創薬支援事業、診断薬原料やバイオ医薬製造用酵素を販売する酵素事業からなる「医療事業」で構成され、グローバルに事業展開しています。2008年度は21%だった売上高の海外比率が2015年には50%に到達、着実に海外売上高を伸ばしています。引き続き、欧米、中国、アジアにて事業展開を加速させ、一層のグローバル化を推進していきます。なお、従来「高機能プラスチック」の区分に含めておりましたライフサイエンス分野の主要部分を、新たなカンパニー候補として成長加速させるため、2019年度よりメディカル事業として分離して開示しております。

## リスクと機会

グローバルに事業を展開する当事業の業績に影響を及ぼし得るリスクには、各国における予期しない政策転換、法規制の改正などがあります。新型コロナウイルス感染症をはじめとするパンデミックも、国内外の事業活動を制限し、生活習慣病を中心とした検査市場を停滞させているという点ではリスクの一つです。一方、高齢化による医療費の増加を背景に、予防医療の観点から疾病の早期発見につながる検査への需要が高まっており、検査数が増加する可能性があります。刻々と状況が変化する中でも、当事業は人々の健康に資する製品の提供を続けてまいります。

## 業績推移



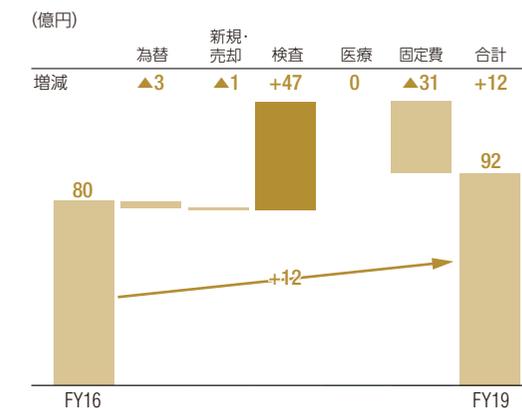
## 主なM&Aなど

2015年	2017年	2018年
エーディア社	ペプチスター社 設立に参画	亜・Veredus Laboratories 社

前中期経営計画において、2019年度売上高は726億円、営業利益は92億円と、2016年度対比で増収増益となりました。主に海外の検査事業にて、欧米と中国で大きく伸ばすことができました。医療事業では、顧客都合による一部受注減があり、伸長は限定的なものにとどまりましたが、引き続き新規原薬の受注獲得等に取り組んでいきます。なお前中期経営計画では、ペプチスター社設立への参画やVeredus Laboratories 社買収による東南アジア販売拠点の獲得等、中長期的な成長への仕込みを行いました。

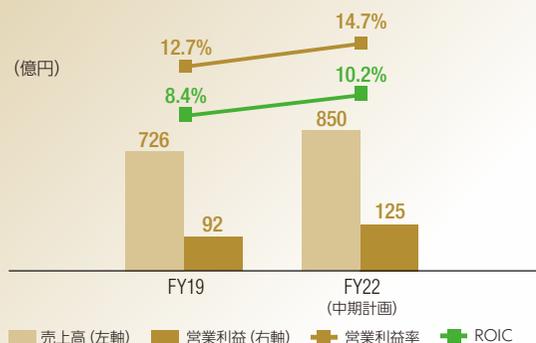
(億円)	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19
資産				1,167	1,204
ROIC					8.4%
EBITDA				145	147
減価償却費				31	37
資本的支出				44	46
研究開発費				51	52
従業員数(人)				1,907	2,050
連結子会社数 (カッコ内は海外)				9(8)	9(8)

## 営業利益増減要因分析



## メディカル事業

## 中期経営計画「Drive 2022」の事業への展開



## 新製品売上高



中期経営計画は、2022年度には売上高850億円で2019年度からは124億円の増収、営業利益は125億円で33億円の増益をねらいます。主力の検査事業では、国内で新製品の積極投入に取り組みます。海外ではエリア別に施策を展開し、欧米では大手企業とのアライアンス強化により主力製品の拡販を進めます。中国においては、引き続き血液凝固分野の拡大をねらいます。医療事業では、多様化する医薬品モダリティ<sup>\*</sup>に対応した生産能力増強と新規品の確実な立ち上げに向け、設備投資を推進します。さらに開発体制を強化し、積極的な新製品投入により事業領域拡大をねらいます。より一層パイプラインを拡充させ、新製品を軸とした次期中期経営計画の成長基盤をつくっていきます。

<sup>\*</sup>モダリティ: 低分子化合物、ペプチド(中分子)薬、再生医療といった治療手段のこと

## ライフサイエンス

グローバルに健康・長寿社会を支える

2030年度  
売上目標 2,000~2,500億円

## 開発重点施策

## 検査事業

## 高感度免疫(国内・中国)

- 新機器投入による免疫市場への本格参入

遺伝子POC<sup>\*1</sup>(米国)

- 日米(SD社)連携による遺伝子POC市場への参入

## コア技術・新規マーカー

- コア技術・新製品のB to B展開、新規バイオマーカー<sup>\*\*2</sup>獲得による事業領域拡大

<sup>\*1</sup> POC: Point of Careの頭文字。現場(診療所等)での迅速な検査・診断のこと  
<sup>\*\*2</sup> バイオマーカー: ある疾患の有無や進行度を把握するために用いられる生理学的指標のこと

## 医療事業

## 医薬・創薬支援 新製品

- 多様化する医薬品モダリティに対応した原薬合成、創薬支援技術の開発(創薬分析技術、特殊ペプチド合成法等)

## 検査事業

生化免疫・糖尿病・血液凝固・感染症などの臨床検査薬や各種分析装置、真空採血管などの開発・製造・販売



CP3000



ナノピアP-FDP

## 医療事業

医薬事業: 医薬品原薬(API) / 中間体 / アミノ酸などの受託製造

創薬支援事業: 医薬品開発の研究開発支援として、薬物動態などに関連する試験の受託



医薬品原薬(API)



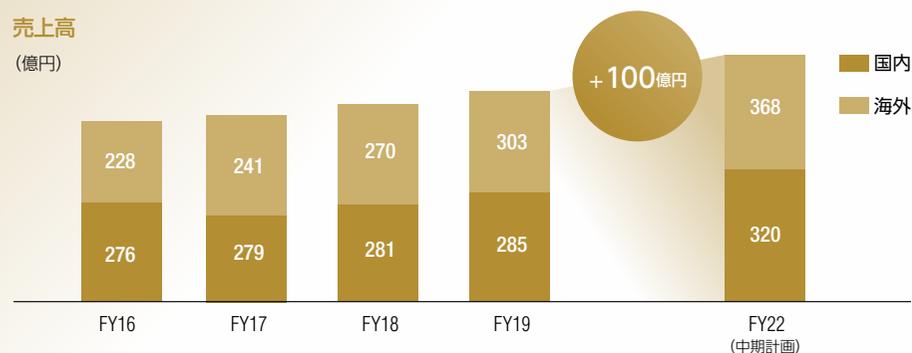
創薬支援試験

## メディカル事業

## 事業別の中期経営計画と成長戦略

## 検査事業

中期計画では、国内においては新製品の積極投入、欧米では大手企業とのアライアンス拡大とPOC強化を推進します。中国では引き続き血液凝固を拡大するとともに、新領域へも参入していきます。アジアでは、前中期計画で買収した Veredus Laboratories 社の ASEAN 拠点化を進めます。

売上高  
(億円)

## ロイシンリッチα2グリコプロテインキット「ナノピア LRG」

炎症性腸疾患の活動性を反映するバイオマーカーとして、2020年6月1日に新たに保険適応されました。高精度の微粒子（ラテックス）を用いた技術により、簡便かつ迅速に検査結果を得ることが可能です。

## 重点領域

重点領域	生化学・免疫	血液凝固	糖尿病	感染症 POC	採血管
主な製品	コレステロールや中性脂肪、梅毒などの検査薬	血液の凝固・線溶に関する物質の検査薬・検査機器	HbA1cの検査薬	アデノウイルスやインフルエンザの検査薬・検査キット	血液検査用の高速凝固型プラスチック製真空採血管

## 開発・新製品

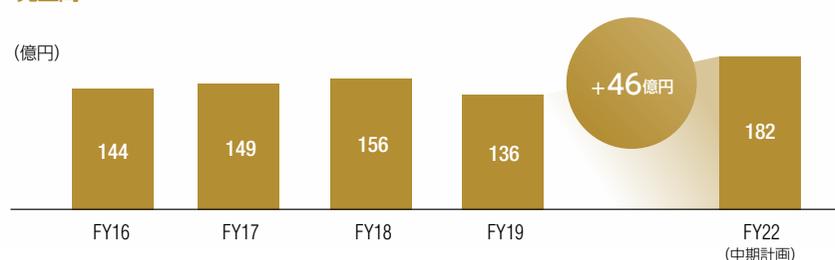
高感度免疫 (国内・中国)	遺伝子 POC (米国)	コア技術・新規マーカー
新たな機器システムの開発を進め、免疫市場への本格参入をねらいます。	市場の伸びが大きい遺伝子検査の開拓を目指します。	コア技術・新製品の B to B 展開、がん領域を中心とした新規バイオマーカー*獲得により事業を拡大します。

## 医療事業

中期計画では、生産能力増強をねらった大型設備投資を実施します。医薬では新規品の獲得と着実な製造プロセス立ち上げ、創薬支援では国内と米 XenoTech 社との連携強化を図ります。また酵素については CDMO\*事業の拡大をねらいます。

\* Contract Development and Manufacturing Organization の頭文字。製剤開発から治験薬製造、商用生産まで、包括的にサービスを提供する事業形態のこと

## 売上高



## 開発・新製品

医薬・創薬支援新製品
従来の低分子の医薬だけでなく、中分子・高分子にも対応した原薬の合成技術や創薬支援技術の開発を進めています。